

NII学術情報基盤オープンフォーラム
RCOSトラック1「CiNii Researchと大学図書館」
2021年7月6日

CiNii Researchに対するURAからの期待

京都大学



KURA

京都大学学術研究支援室 (KURA)
リサーチアドミニストレーター
天野絵里子

リサーチ・アドミニストレーター（URA）（2014-現在）

- 研究支援の専門職
- 学内ファンド、URA研修プログラム
- 人文・社会科学系研究の支援（新刊情報ポータル）
- 研究データ管理（JPCOAR、ポリシー、葛ユニット）

オープンサイエンス

研究成果の発信
大学の成果発信基盤

×

元・図書館員（1998-2014）

- 京都大学、九州大学、国際日本文化研究センター
- 図書館システム（OPAC、ウェブサイト）、学修支援、リポジトリなど担当
- オープンアクセスの推進

資料の蓄積・共有

デジタル化
オープン化
アーカイブ化

京都大学の卓越した知の創造活動を研究者の視点に立って
学問・社会を発展させる力に変える



紹介動画（約8分）

研究戦略推進 支援業務	プレアワード 業務	ポストアワード 業務	関連専門業務
政策情報等の 調査分析	研究プロジェクト 企画立案支援	研究プロジェクト 実施のための 対外折衝・調整	教育プロジェクト支援
			国際連携支援
	外部資金情報収集	プロジェクトの 進捗管理	産学連携支援
研究力の調査分析	研究プロジェクト 企画のための 内部折衝活動	プロジェクトの 予算管理	知財関連
			研究機関としての 発信力強化推進
	研究プロジェクト 企画のための 対外折衝・調整	プロジェクト 評価対応関連	研究広報関連
研究戦略策定	申請資料作成支援	報告書作成	イベント開催関連
			安全管理関連
			倫理・コンプライアンス関連

- CiNii、そもそもあまり使ってない
- 研究データが検索できるのはいいかも（社会科学、言語学、生命科学）
- 研究者のマッチングに使えるかも
 - 「これまではKAKENを使いがちだったのですが、「プロジェクト」タブでそれを見つつ、そのついでに「論文」タブにアクセスするとその分野の雰囲気をつうんというレベルですがつかむこともできて、次の検索キーワードに繋がられるかなという感じがしました」
- 検索サービスというだけでない、**新たな使い方**に期待

研究戦略推進 支援業務	プレアワード 業務	ポストアワード 業務	関連専門業務
政策情報等の 調査分析	研究プロジェクト 企画立案支援	研究プロジェクト 実施のための 対外折衝・調整	教育プロジェクト支援
	外部資金情報収集	プロジェクトの 進捗管理	国際連携支援
研究力の調査分析			プロジェクトの 予算管理
	研究プロジェクト 企画のための 内部折衝活動	プロジェクト 評価対応関連	
研究プロジェクト 企画のための 対外折衝・調整			報告書作成
	申請資料作成支援	倫理・コンプライアンス関連	
研究戦略策定			安全管理関連

多様な種類の日本語・日本発の
研究成果を網羅して収録



URA
大学

適切な名寄せと
データ間のつながり



研究者
大学

CiNii Researchが、

ないとき . . .

- 研究力分析は英語文献だのみ
→ 日本の研究成果はそれだけ？
- 論文だけ見ている
→ 研究成果は論文だけ？
- 著者や組織で情報がまとめられない . . .

日本語・日本発の多様な研究成果が
十分に把握できていなかった

あるとき . . . !

- CiNii Researchで、日本語・日本発の研究成果が把握できる
- CiNii Researchで、論文だけでなく本や研究データなど多様な成果を把握できる
- 将来的には、著者名や組織名での名寄せの精度アップに期待

CiNii Researchが、

ないとき . . .

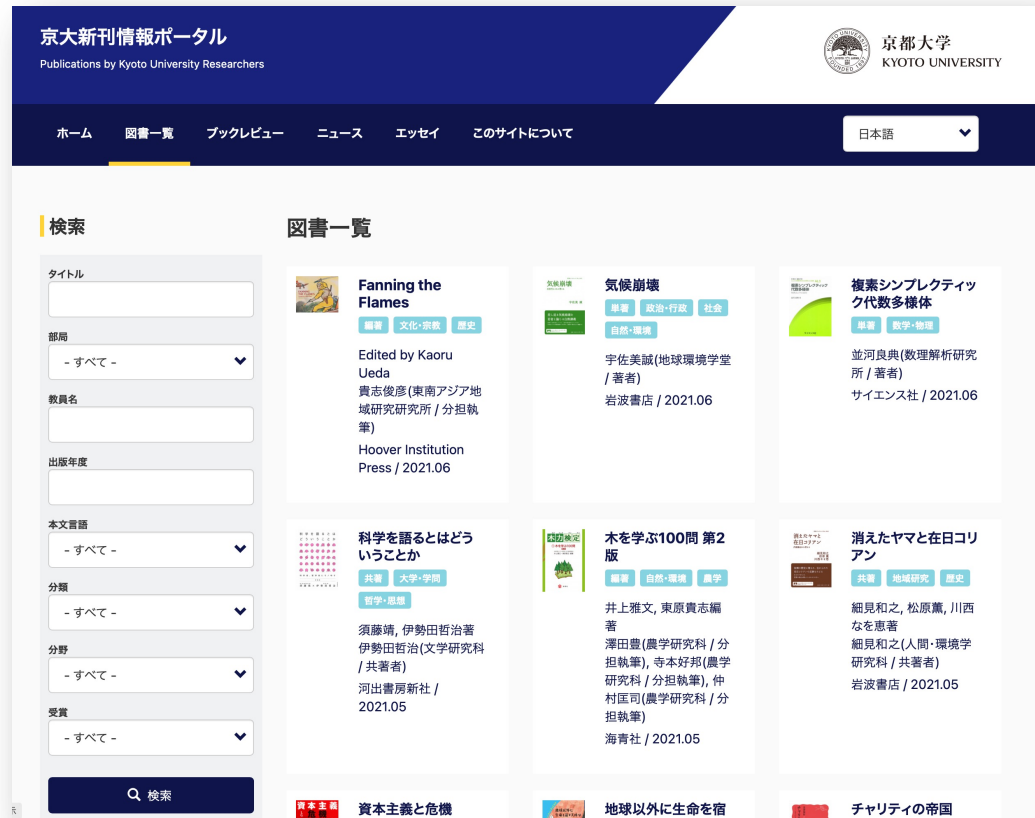
- CiNii各サービス間のデータがつながっていない
→自分・自機関の成果をまとめられない
- 研究者が、自分の名寄せをしてもしても泣き別れる (CiNii Articleの場合)

メタデータが適切につながっていないため、成果発信には使えない

あるとき . . . !

- 著者や研究機関ごとに、多様な成果をまとめて表示ができる
(ように、名寄せの精度アップと機能強化に期待)
- 研究者が何もしなくても自分の成果がまとめられている

たとえば、



- 京都大学では、図書館とURAが協働で「新刊情報ポータル」を運営
- 「京都大学の研究者が書いた本」を誰も把握していないなんておかしい！というURAの声でできた
- **成果の把握 + 成果発信**
- CiNii Booksからデータを取得してはいるが、著者名典拠データに「京都大学」という所属が入っていないため一苦勞
(毎年1回著者名典拠IDと研究者IDの対照表を手作業で更新)

CiNii Researchがあれば・・・！

(もっとできるはず)

- メタデータをリッチに
 - 論文では、PubMedでのMeSHのような主題や、「Article」とか「Review」とかの種別や、オープンアクセスかそうでないかのフラグがあるとよい
- データセットとして活用したい場合の詳細な情報の提供
 - ソース、API、メタデータ、名寄せの仕様、引用情報
- 国際的な発信についての戦略

- 日本語・日本発の学術研究成果をまとめてつなげて世界に発信
- URAもCiNii Researchの利用者コミュニティの一つ

A stylized, handwritten signature in black ink that reads 'KURA'. The letters are connected and fluid, with a long horizontal stroke extending from the left.

amano@kura.kyoto-u.ac.jp

Special thanks to Code4RA (Research Administration)

<https://sites.google.com/view/c4ra>